



題字は、武生商工高校3年 土田 ゆりなさんの書道作品です。

越前市議会だより

ダム本体のコンクリート打設が完了 吉野瀬川ダム建設現場を確認



事業説明の様子



吉野瀬川ダムの遠景



工事現場の視察の様子

5月26日に、吉野瀬川ダム建設事業の現地見学を行いました。

吉野瀬川は、越前市や鯖江市の市街地を流下し日野川に合流する流域面積59平方キロメートル、流路延長18.2キロメートルの一級河川です。

吉野瀬川流域では、台風や梅雨豪雨などにより、たびたび家屋や農地が被害を受けており、流域の安全、安心に向けて、上流でのダム建設と、下流での河川改修を一体的に整備しています。

吉野瀬川ダムは、このような吉野瀬川流域における洪水被害の軽減などを目的とした治水ダムです。この事業は、平成3年に採択され、令和3年にダム本体工事を着工、令和5年にコンクリートの打設を開始し、ダム本体のコンクリート打設が7月に完了しました。

今後は、試験的に洪水時の最高水位まで水を貯め、ダム本体の安全を確認して、令和8年度での完成を予定しています。

また、ダムコンクリートの打設温度を25度未満とすることが決められていて、ことから、夏期は夜間に打設していることや、ダム現場の観光資源への活用に取り組んでおり、17団体、109名が参加したとの、説明を受けました。

吉野瀬川ダムは、令和8年の完成に向け、現在は、ダム本体工事および付替道路工事などが進められています。

本号の主な内容

- 2面 ◆ 6月定例会の議案審議など
- 3面 ◆ 議決結果など
- 4・5面 ◆ 一般質問
- 6面 ◆ 常任委員会の報告など
- 7面 ◆ 政務活動費の報告など
- 8面 ◆ 高校生の議場見学、揮毫メッセージなど



本会議での質疑、各常任委員会での審査を経て、いずれも原案どおり可決されました。このほか、専決承認案を4件承認しました。

この定例会では、一般会計補正予算案など予算案3件をはじめ、市税賦課徴収条例の一部改正などの条例案3件、一般議案2件が提出されました。

令和7年越前市議会6月定例会が、6月11日から7月3日までの23日間にわたって開かれました。

6月定例会の概要

6月補正予算

一般会計 8,030万1千円の補正予算

- ・地域交通対策事業
- ・地域医療活動支援事業
- ・農作物鳥獣害防止対策推進事業
- ・コミュニティ助成事業
- ・社会体育振興事業
- ・空き家対策事業 ほか

6月定例会

議案審議

※その他の審議については、
9月掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム

検索



補正予算審議

地域交通対策事業

900万円

問 自動運転実証実験の事業概要は。

答 昨年度同様、自動運転の実証実験を行う。昨年度との違いは、完全自動運転を見据え、車両を最新機種にグレードアップすること、路上駐車が多いルートを避けて運行すること、運行期間を6日間から2週間に延長すること、交差点にカメラを設置し、安全確認の情報や、信号の切り替わり情報をリアルタイムに車両に送信するシステムを導入することである。

問 市民の反応は。

答 昨年度乗車した人を対象に行ったアンケートでは、8割以上の人が再度の利用を希望した。また、自動運転の普及についても、8割以上の人が賛成と回答し、自動運転に前向きな意見が多い状況である。

問 車社会の越前市で、有人バスでさえ乗客が減少しているが、自動運転バスに有効性はあるのか。

答 車社会とはいえ、高齢者や学生などの交通弱者は一定数おり、公共交通は必要である。その公共交通を維持するために必要な担い手不足という課題を解消するため、自動運転の導入は有効である。



▲今回使用する車両

大規模下水道管路特別重点調査

435万5千円

問 調査対象となっている管路はどのようなものか。

答 口径が2メートル以上かつ30年以上経過した管路を対象としており、ハピライン武生駅東側の道路から、信越化学工業株式会社武生工場に向かう豊橋付近の道路に埋設されている総延長約1.1キロメートルの雨水排水用管路が対象となる。

問 調査内容は。また、この調査によって危険性が明確に分かるのか。

答 調査内容としては、まず、専門の業者が直接管内に入り、コンクリートの亀裂や剥離、鉄筋の露出や腐食診断、接合部の隙間や沈下、たわみなどの破損診断について、目視点検で行う。損傷などが確認された場合には、ハンマーによる打音調査を行い、損傷の程度や範囲を確認する。道路の下に空洞のおそれがある場合には、道路上から空洞調査などを行う。これらの調査を行うため、万が一異常があったとしても確実に確認ができるものと考えている。

問 口径が2メートル未満の管路の対策は。

答 日常のパトロールや道路管理者、市民からの情報提供により、道路の路面状況の異常を確認したり、随時マンホールから内部の目視点検を行っている。また、5年に1度下水道の法令点検を行っている。

常任委員会委員長報告

教育厚生委員会

看護学生への就学支援を

問 武生看護専門学校の学生の市内就職率は。令和6年度は25人が卒業し、そのうち6人が市内就職者である。

問 市外に就職した際に、補助金返還の規定を設けた議論の背景は。

答 この制度は武生看護専門学校の学生確保と、看護学生の就学支援を通じ、市内医療機関等への就業を促進し、地域医療体制の維持を図ることを目的として設計したものである。

プラスワン給食実施の周知の徹底を

問 中学校のスクールランチ校で弁当を持参する場合の対応は。

答 県の補助要件が、通常の給食に一品プラスすることとなっているため、弁当持参の生徒に対してはプラスワン食材を提供できない。

プラスワン食材提供日は、スクールランチを選択することも考えられるので、スクールランチカレンダー等を用いて、しっかりとPRしたい。

産業建設委員会

広域的な鳥獣害対策の呼びかけを

問 農作物鳥獣害防止対策推進事業の事業計画の内容は。

答 自動捕獲システムを装着した大型檻による捕獲や、忌避音声スピーカー搭載ドローンによる二ホンザルの追い払いなどICT機器を活用することにより、捕獲、集落点検、追払い活動の省人化を図り、鳥獣害の減少を目指す事業を3カ年継続して実施する。

また、その間に得られたデータを検証し、成果につなげていく。

問 ニホンジカの個体数を増やさないための対策は。

答 県が実施した調査結果に基づき、市において捕獲計画頭数を新たに定め捕獲していきたい。



▲ドローンによるサルの追い払い

新技術を活用した点検作業の検討を

問 雨水幹線の管路内の点検内容は。

答 調査対象となる雨水幹線は、十分に人が入れる大きさであるため、基本的に目視点検を行う。

そこで、異常が見つかった場合には、打音検査やソナー調査などを実施する。

総務委員会

自動運転の後は

問 自動運転の実証実験について、費用対効果と今後のスケジュールは。

答 自動運転については、レベル4に対応した車両購入だけでなく、道路環境に対応する整備が必要であり、実証実験を行うなかで、5年間で設備投資を行っていく。

本格運行となった際には、運賃収入や運行経費を勘案すると、現在の市民バスを運行する経費で対応できると考えている。

本格運行については、まずはレベル2で、2年間運行した後、国に申請を行い、また道路環境の整備については、警察に申請を行い、認められれば、翌年からレベル4での実証運行が可能となることから、これが最短のロードマップになる。

※レベル4：一定条件下でのシステムによる完全自動運転（無人）
レベル2：一定条件下での部分的な自動運転（有人）

コミュニティ事業の流れは

問 コミュニティ助成金の採択は、どのように決定されるのか。

答 毎年、市が各地区の自治振興会に照会をかけ、挙がってきたものを県とおして、自治総合センターに申請している。申請にあたっては、これまでの採択の年度や頻度などにより、優先順位をつけ、行っている。昨年度は、4地区から申請があり、2地区が採択された。



▲コミュニティ活動の例（自治振興会主催イベント）

議案の議決結果

令和7年6月定例会に提出された議案と議決結果は、次のとおりです。

議 案	件 名	付託委員会	議決の結果
議案第30号	令和7年度越前市一般会計補正予算（第2号）	総務 教育厚生 産業建設	可決（全員）
議案第31号	令和7年度越前市水道事業会計補正予算（第1号）	産業建設	可決（全員）
議案第32号	令和7年度越前市下水道事業会計補正予算（第1号）	産業建設	可決（全員）
議案第33号	越前市議会議員及び越前市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び越前市議会議員及び越前市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正について	総務	可決（全員）
議案第34号	職員の育児休業等に関する条例及び越前市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	総務	可決（全員）
議案第35号	越前市市税賦課徴収条例の一部改正について	総務	可決（全員）
議案第36号	工事の請負契約について（新公立認定こども園（吉野地区）新築工事）	教育厚生	可決（全員）
議案第37号	工事の請負契約について（王子保公民館耐震補強等工事）	教育厚生	可決（全員）
議案第38号	専決処分の承認を求めることについて （令和6年度越前市一般会計補正予算（第12号）		承認（全員）
議案第39号	専決処分の承認を求めることについて （越前市市税賦課徴収条例の一部改正について）		承認（全員）
議案第40号	専決処分の承認を求めることについて （越前市都市計画税条例の一部改正について）		承認（全員）
議案第41号	専決処分の承認を求めることについて （越前市国民健康保険税条例の一部改正について）		承認（全員）

表彰

●全国市議会議長会

5月20日に東京国際フォーラムにて開催された全国市議会議長会第101回定期総会にて表彰を受けました。

●北信越市議会議長会

4月15日に長岡市で開催された第100回北信越市議会議長会定期総会にて表彰を受けました。

議員在職15年

川崎 俊之 議員



議員在職10年

小玉 俊一 議員
大久保 健一 議員
吉田 啓三 議員



10期目の議会モニター始まる

越前市議会では、議会モニター制度を平成28年から導入しています。議会モニター制度とは、議会への市民参加を推進する取り組みの一環として、市民の声を議会活動に反映できるよう議会運営に対する要望やご意見をいただくための制度です。この度、10期目にあたる議会モニターの委嘱状交付および第1回議会モニター会議を6月5日に、第2回会議を7月16日に開催しました。

議会モニターの皆さん

- 筏 洋介 氏
(NPOのつぼえちぜん推薦)
- 井上 哲夫 氏
(越前市スポーツ協会推薦)
- 岩田 良司 氏
(越前たけふ農業協同組合推薦)
- 上嶋 成美 氏
(越前市女性会推薦)
- 北野 庄司 氏
(越前市文化協議会推薦)
- 杉本 直子 氏
(武生商工会議所推薦)
- 關本 邦夫 氏
(公募)
- 玉川 忠春 氏
(連合福井丹南地域協議会推薦)
- 玉村 和夫 氏
(越前市社会福祉協議会推薦)
- 兵 勝 氏
(いきいきシニアクラブ連合会推薦)
- 増田 久恵 氏
(公募)
- 水嶋 啓人 氏
(越前市商工会推薦)
- 矢野 栄幸 氏
(越前市自治連合会推薦)

6月定例会
一般質問

今定例会では、15人の議員が6月18日、19日、20日の3日間、一般質問を行いました。質問項目の中から1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約し、掲載しました。なお、詳しくは「市議会ホームページ」をご覧ください。なお、顔写真横の二次元コードを読み取ると、それぞれの録画映像をご覧ください。

福祉・医療

高齢者の補聴器購入費助成制度の実施を

Q 加齢性難聴者が必要とする補聴器は高額であり、全国の自治体では購入への助成制度が広がりつつある。県内では実施自治体はないが、高齢者の幸福実感を高めるためにも早期実施を。

A 県内の自治体がやっていないからやらなくてもいいということではなく、全体としての福祉行政のバランスの中で、どれぐらいの費用が必要なのかということも含めて幅広く、研究させていただきたい。

他の質問項目

・「市民の幸福に関する条例(仮称)」の制定について
・「水道料金・下水道使用料等協議会」を設置しての下水道使用料の検討について

諸派 日本共産党

前田 修治



民生委員・児童委員について

Q 民生・児童委員や地区が費用弁償費より会費を支払うことの不条理さを感じるが行政の思いは。また、民生・児童委員の負担軽減のため、過度な業務依頼、各種事業への参加を一旦まとめ、精査する機関が必要では。

A 民生・児童委員の会費については、所属団体への参加に伴う自主的な負担である。また、民生・児童委員の負担が大きいことは認識している。まずは市民生委員・児童委員協議会連合会と協議し課題整理をする。

会派 創至

能勢 淳一郎



企業に女性特有の病気の休暇の働きかけを

Q 年齢を問わず女性特有の病気は多くあるが、不妊治療も含め仕事と治療の両立が難しい現状がある。休暇を取りやすい事業所を増やすための働きかけをすべきである。

A 現在、男女平等オンブツトによる企業訪問では女性特有の休暇制度に関する啓発は行っていない。今後は「市輝く女性活躍応援団」に参加の事業所等を対象に、女性特有の休暇制度についても継続的に啓発を行っていく。

他の質問項目

・女性特有の病気に関する相談窓口の設置を
・新聞を使った教育の今後の進め方について

会派 未来

安立 里美



認知症施策の推進について

Q 令和5年6月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」ができ、合わせて国では「認知症施策推進基本計画」が作成された。計画に掲載されたように、認知症の人とその家族の意見を聴き認知症政策を推進せよ。

A 認知症カフェや家族介護者交流会で、本人や家族の声を直接聴いている。地域包括支援センターが主体となり、本人参加型の意見交換会やワークショップを開催して本人や家族の声を聴いていく。

他の質問項目

・ウォーターPPPの推進について
・紫式部プロジェクト推進協議会について

諸派 公明党

桶谷 耕一



農業

越前市の企業誘致政策(補助制度)について

Q 破産したA P B(株)に支払った補助金の返還がなされない場合の法的措置の検討状況は。

A 補助金の交付決定の取消及び返還命令の通知を发出したが、補助金の返還はなされず、破産通知が本市に送付された。破産管財人が配当可能額を調査中で、本市が配当対象となった場合は債権届出を行う。債権全額が回収できない場合は、未回収分について不能欠損処理を行うことになる。

他の質問項目

・市長所信より、防災について

市民ネットワーク

砂田 竜一



産業廃棄物について

Q 今立工業団地横に産業廃棄物や一般廃棄物が山のように積まれている。タンナン重建は事業停止の状態であるが、栗田部地区は25年前、当企業と環境協定を結んでおり、速やかに廃棄物の取り除きを要望している。市の取り組みはどうなっているのか。

A 産業廃棄物に関しては県が、一般廃棄物に関しては市及び南越清掃組合で指導する。環境保全協定に基づき、すべての廃棄物の撤去を要請し、県との協議を進めている。

他の質問項目

・公共施設等総合管理計画について

会派 郷働

小玉 俊一



地域農業を推進するにあたり、10年後の本市の農業の在り方について

Q 農業者を支援する自治体やJ Aも人手不足、専門性という観点で経験不足という課題がある。強固な体制作りに向け、見解は。

A 地域農業は担い手の減少、高齢化などさまざまな深刻な課題があるが、コミュニティの維持や災害の視点からみても継続は重要である。今回、地域計画の策定、食と農の創造ビジョンの改定があり、いかにして農業経営を安定させるか、夢と希望をもって明るい未来を描けるよう、力強く推進していきたい。

他の質問項目

・地域看護(コミュニティナース)の推進について

会派 郷働

川崎 悟司



本市の地産地消推進施策について

Q 有機農業の人材育成の拠点を本市に整備すべき。

A 先の県議会定例会にて知事より有機農業について生産から流通・消費までの取り組みを一体的に推進するための官民連携のプラットフォーム「農林水産地方創生センター」を早急に立ち上げる旨の発言があった。本市において有機農業の人材育成や指導ができる場になっていくことを期待している。有機農業の支援拡大を含めさらに働きを強めてまいりたい。

他の質問項目

・移住・定住促進事業について

誠和会

川崎 俊之



※「一般質問」とは？
議員が、行政全般にわたり、市長をはじめ理事者に対し、事務の執行状況や将来の施策等について、説明を求め、疑問点をたずねるために行う質問のことをいいます。

市政運営

市長就任以来の「[田市長]」の政治姿勢について

Q 市長就任以来のこれまでの市政運営を総括いただきたい。また、市長選に臨まれ、今後どのように取り組まれるのか。

A 就任した当初より、新幹線の開業や大河ドラマ放送を好機と捉え、積極的に働きかけ種々のプロジェクトでの成果を得られた。また、子育てにおいても多くの無償化に取り組み、さらには国・県とのパイプを生かしてきた。その結果令和2年度末と比べ、借金を約70億円減少させた。今後も市民のウェルビーイングを実現させるよう頑張りたい。

他の質問項目

・学生や生徒のスポーツや文化の推進について

会派 創至
小形 善信

防災

地域防災・災害弱者の避難誘導について

Q 災害弱者の個別避難には、市と地域との連携が必要。助けてほしい人と支援できる人をつなぐことが大切。支援者への情報提供の同意をとり、つないでほしい。

A 本市の避難行動要支援者は、2835人。うち、同意の返事がない人が、1058人。未回答者の解消を進める。地域防災は、人のつながりが大切。共助、互助ができるよう精一杯やっていく。

他の質問項目

・図書館の戦略的活用について

市民ネットワーク
土田 信義

共生

外国人への日本語支援について

Q 外国人との共生社会の実現は、本市にとって避けられない課題。日本語支援は、外国人との共生社会の第一歩。外国人のためだけでなく、地域住民全員のためであるということをしつかり理解し強化を求める。外国人への日本語支援は越前市の使命である。

A 日本語によるコミュニケーションは重要。言葉が通じること、日常生活の不安や誤解が減り、相互理解が深まり、地域の中で安心して暮らすことができるようになる。そのため日本語支援をはじめとした外国人市民との共生に関する施策を実施していくことは重要。日本語教室の充実にも努める。

他の質問項目

・企業の男性職員の育休充実について
・新たな転換期を迎える農政の対応について

市民ネットワーク
大久保 恵子

移住・定住

移住定住促進について

Q U・イターン移住就職等支援事業補助金の創設理由とその時期は。また、効果はあるのか。外部の専門団体も複数あるので、それらと連携して移住フェア、移住体験等を多く開催し、本気度を出して、移住者を増やす取り組みを要望する。

A 本市への移住・定住と市内企業の人材確保を併せて推進するための補助金であり、全国型が平成27年に、東京圏型は令和元年に創設された。また、令和5年度と令和6年度の実績の合計で、31世帯58人が転入した。

他の質問項目

・次世代育成について

地域共生
橋本 弥登志

公共交通

公共交通について

Q 先進的な自動運転実証実験の取り組みは大きく評価するが、市の財政状況や職員の業務量の増大を踏まえ、他の自治体での実証実験を見据えた上で、本市の取り組みを考えてはどうか。また、当面する新幹線駅からまちなかへの公共交通システムや予約タクシー（デマンド交通）の本格実施に向けて全力で取り組んでほしいと願うが。

A 本市の交通問題は、高齢化もあり車社会が成り立たなくなっているのではと思っている。その解決策として、タクシー、予約タクシー（デマンド交通）などさまざまな手段を駆使していくことが求められる。今後は、困っている方のためにもスピード感をもって当面の課題に集中すると共に、未来に向けた準備も含め、2つの視点を持ちながらやりたい。

他の質問項目

・下水道事業についての対応について

一志会
佐々木 哲夫

獣害対策

市街地獣害対策について

Q 人口減、空き家増加の影響もあり、市街地での害獣増加を心配している。園芸作物の被害が出ており、家屋への果作りは感染症発生の危機をはらんでいる。市民が協力し合い、地域からの根絶を目指すべきだと思うが、今年4月からは害獣捕獲に係る費用が個人負担になった。なぜか。

A 財政負担が大きいので、有償化した。この見直しにあたり、各地区の農家組合長会議にて説明し、理解をいただいている。個人の財産は自分で守っていたきたい。

他の質問項目

・国際交流の目的と意義
・新幹線駅整備への新技術活用

諸派
畑 勝浩

青少年

刑法犯少年の再犯防止に向けた取り組みについて

Q 課題となっているのが青少年非行の低年齢化。相談内容も中学、高校と若い世代に集中していると思われる。学校関係等と早い段階から支援を進めるべきと考えるが。

A 当事者の側に立つて、その子どもたちを取り巻く人々のつながりや関係性をサポートできるところを、学校がきちんと窓口になり、力を尽くしていけるところは携わってほしい。やり直しを求めて来られるなど、関わりを必要とする青少年は学校としてもできる限りサポートする。再犯防止の観点からも一人一人の青少年に寄り添った支援を学校教職員や要対協等の関係機関が、生活相談や進路相談等の中でやっていく。

他の質問項目

・自立準備ホームの考えについて
・ハビライン武生駅空きスペースの活用について

会派 未来
題佛 臣一

常任委員会 視察報告

総務委員会

4月23日～4月24日

●京都府綾部市
移住立国プロジェクト事業の取り組みについて

●三重県松阪市
住民自治協議会について

綾部市は、移住立国プロジェクト事業として、移住を促し今後30年間で人口を4万人に増加させる事業に取り組んでいます。「定住相談のワンストップ窓口」を開設し、市がリフォームした空き家を3年間賃貸し、この期間に定住する空き家を決める制度や、空き家を購入する際の補助金の交付等を行っています。また、綾部市出身者が集うイベントを開催し、ふるさとの良さを再認識してもらう機会を提供しています。農業体験など交流人口の拡大や、移住者自身の口コミで、移住者が増加しているとのことでした。説明を受けた多くの支援制度を当市の施策にも取り入れていきたいなどの意見がありました。

松阪市では、小学校区を単位とした全地区に、住民協議会を設置しています。住民協議会、自治連合会などの地域組織があり、各組織の在り方や運営等の課題もありましたが、よりよい住民自治の在り方を協議し、「住民自治協議会」を令和3年4月に立ち上げました。この協議会は、小学校区を単位とした43地区に設置しており、これを10ブロックに区分けしています。本

市でも、地域自治振興事業の見直しを進めてきており、松阪市の住民自治協議会の立ち上げや合意形成の手法を参考にしたい、との意見がありました。



教育厚生委員会

5月22日～5月23日

●兵庫県明石市
こどもを核としたまちづくりについて
●岡山県岡山市
公民館における持続可能な社会づくりとESD活動について

明石市では、子育て世帯の負担を軽減するため、医療費、保育料、おむつ、学校給食、遊び場の5つの無償化や、こどもの居場所づくりに取り組むなど、市全体として子育てに関わり、切れ目のない支援体制が作られていました。金銭的な支援だけでなく、対面すること、見守ることも重点を置いており、おむつ定期便事業では、おむつなどの用品を毎月無償配達することによって、定期的な関わり、見守りを行い、支援の必要な世帯の早期発見・早期支援につなげていました。市民に寄り添った支援となっており素晴らしいなどの意見がありました。

岡山市では、各公民館が、岡山市立公民館基本方針に基づき、共生のまちづくりの拠点としての公民館づくりを目指し、活動に取り組んでいました。社会教育を通じ、よりよい未来のために社会課題の解決に取り組む公民館活動が、ESDの目指すものと共通していることから、ESD推進を中核とした事業を公民館で展開すること、地域力を向上させて持続可能な地域づくりへとつなげていきました。基本方針を定めて、適時見直しを行っていくというやり方が素晴らしいなどの意見がありました。



産業建設委員会

4月24日～4月25日

●山形県長井市
レインボープランについて
●山形県高畠町
有機農業の取り組み及び高畠町有機農業研究会、農業教育、食農教育について

長井市のレインボープランとは、正式名称を「台所と農業をつなぐ・ながい計画」といい、分別回収した生ごみをたい肥化し、そのたい肥を使って育てた農作物を食卓に届ける循環型地域づくりの事業です。

地域の女性グループが呼びかけの主力となり、説明会の開催やごみ集積所での分別指導等を行ったことで、大規模で精度の高い分別収集を継続できました。生ごみたい肥化に代わる新たな循環の形も模索されており、長井市が取り組む次世代を見据えた地域循環のまちづくりは非常に参考となったと意見がありました。

高畠町では、青年有志らが高畠町有機農業研究会を発足したことを起点とし、50年以上、農民の自主・自立を目指す運動として有機農業に取り組んでいます。また、「たかはた食と農のまちづくり条例」を制定し、小中学校において農業体験等による実践教育や、大学生や都市住民との交流なども活発です。

そのほか、除草省力技術の研究や町内産有機農産物の流通を高めるための地域認証「まほろばみのり」の制度実施に向けた検討を行うなどの取り組みも盛んです。

強い情熱を持った多くの生産者と、まちづくりにもつなげていく行政との協力関係が、有機農業の推進に非常に重要であった、との意見がありました。



特別委員会 活動報告

議会活性化
特別委員会委員長報告

6月27日開催の本委員会では、今後取り組むべき調査内容等について意見交換を行いました。

まず、「通年議会」導入の検討については、全国の他市議会の事例などを参考に、その効果の検証と、運営上の注意点を洗い出しを進めています。今後、行政視察等による調査・研究も含め、さらなる議論を重ねていきます。

次に、「委員会のインターネット配信」については、先行自治体である「あわら市議会」の取り組みを視察するなど、費用設計・運用体制の課題を整理してきました。そして、委員会での協議の結果、一定の実効性を確保できるとの判断に至りました。今後、ネット配信の実施に向けて、議員間協議により議論を深め、実施に向けた検討を進めていきます。

議会機能継続計画を策定しました

「議会機能継続計画（議会BCCP）」については、大規模災害時の議会及び議員等の役割や行動基準、議会運営などを定めるため、これまで、行政視察等による調査・研究と、議論を重ねてきました。

4月17日の委員会にて、本計画の原案を確認し、議員協議会での承認を受け、4月21日に本計画を策定しました。

公共交通対策
特別委員会委員長報告

●群馬県（オンライン視察報告）
こども向けタクシー こどもデマンド渋川について

「こども向けタクシー こどもデマンド渋川」は、塾や部活動の送迎に伴う家族の負担を減らし、送迎の困難を理由とした教育格差の解消につなげようと群馬県と渋川市が連携し、令和5、6年度に実証運行を行っているものです。

このサービスは、県が出資する群馬県新モビリティサービス推進協議会により運営されており、アプリなどにより、チケット購入や配車予約を行うことができます。チケットの購入情報は、交通系ICカードなどに紐づけられ、こどもがICカードを車内の専用端末にかざすことにより、支払いに加え、乗車、降車の情報が保護者に届くよう設定されています。利用対象は、18歳未満の群馬県民のうち、塾や放課後児童クラブへの移動にかかるものとし、運賃は、500円の「1回券」のほか30日利用できるサブスクチケットを設けています。経費、運行などに関する課題はあるが、社会的な需要も多いので、効果的なサービスになるよう改善・検討を加え、今後も他の市町村のシステムの導入サポートを行っていくとの説明がなされました。

デマンド交通については、交通弱者のために幅広く応用できる交通サービスではあるが、持続可能な取り組みになるよう、今後とも研究していく必要があると認識しました。



令和6年度の政務活動費収支を報告します

政務活動費は、地方自治法、越前市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議会機能の充実強化と、議員の政策立案のための活動基盤の充実を図ることなどを目的に、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として交付されます。

政務活動費の交付及び政務活動費を充てることができる範囲については、越前市議会政務活動費の交付に関する条例に定められています。

- 政務活動費を充てる事ができる経費
- 議員が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、要請、陳情、各種会議への参加等市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費
- 交付金額
- 年間 720,000 円（月額 60,000 円を四半期ごとに交付）

越前市議会では、政務活動費の使途の透明性を確保し、開かれた議会の実現を図るため、議会だよりでの収支報告の掲載、およびホームページでは収支報告書に加え、領収書と活動結果報告書を公開しています。

議員別収支一覧表（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

(単位：円)

議員氏名	支出額	執行率	主な支出			
能勢 淳一郎	720,000	100.0%	議会報告だより発行	512,790	先進地視察	152,810 ほか
土田 信義	699,162	97.1%	議会報告だより発行等	440,062	事務用品代等	124,530 ほか
畑 勝浩	635,603	88.3%	研修会参加等	420,600	書籍等	103,013 ほか
近藤 光広	399,240	55.5%	研修会参加等	156,580	事務用品代等	131,640 ほか
佐々木 哲夫	718,320	99.8%	研修会参加等	310,240	議会報告だより発行	221,932 ほか
橋本 弥登志	720,000	100.0%	議会報告だより発行	703,120	タブレット端末通信費等	16,880
清水 一徳	376,602	52.3%	議会報告だより発行	221,932	先進地視察	140,270 ほか
桶谷 耕一	482,695	67.0%	議会報告だより発行	325,600	先進地視察	76,370 ほか
砂田 竜一	370,495	51.5%	先進地視察等	240,290	事務用品代等	116,291 ほか
小玉 俊一	402,394	55.9%	書籍等	123,032	先進地視察	115,840 ほか
吉田 啓三	278,700	38.7%	議会報告だより発行	167,200	先進地視察等	97,100 ほか
川崎 俊之	714,172	99.2%	議会報告だより発行	685,332	タブレット端末通信費等	28,840
題佛 臣一	720,000	100.0%	議会報告だより発行等	565,330	先進地視察等	140,270 ほか
安立 里美	691,237	96.0%	議会報告だより発行	515,137	先進地視察	140,270 ほか
大久保 恵子	637,421	88.5%	議会報告だより発行	463,108	先進地視察	97,100 ほか
小形 善信	468,614	65.1%	先進地視察	140,270	議会報告だより発行	139,322 ほか
川崎 悟司	672,223	93.4%	議会報告だより発行	586,333	先進地視察	71,490 ほか
城戸 茂夫	46,170	6.4%	書籍等	31,770	タブレット端末通信費	14,400
前田 修治	49,398	6.9%	タブレット端末通信費等	33,870	書籍	15,528
大久保 健一	58,200	8.1%	書籍等	43,800	タブレット端末通信費	14,400
合 計	9,860,646	68.5%				

議会中継は、こしの都ネットワークやインターネット・スマートフォンでもご覧いただけます

こしの都ネットワークの場合

こしの都ネットワークで議会放送を見るときは **092 チャンネル**です。

議会放送中、**091 チャンネル**は図のようになります。

通常放送時

地域ふれあいチャンネル 091ch

議会放送時

地域ふれあいチャンネル 091ch

議会放送 092ch

議会放送 ※議会が重なった場合 093ch

議会放送を見るためにはリモコンのこのボタンで **092 チャンネル**に合わせてください。

インターネットスマートフォンの場合

本会議の録画映像は**見たいときにいつでも議員ごと**に見ることができます。

議会中継をご覧になるときは、市のホームページから入って次の手順でアクセスしてください。

▼越前市議会をクリック



▼インターネット議会中継をクリック



問合先 / 越前市議会事務局 ☎ 2 2 - 3 4 2 6

9 月 議 会 の 日 程

月 日	曜 日	時 間	会 議 名	こしの都ネットワーク再放送の予定時間 (変更になる場合もあります)
9 月 1 日	月	午前 10 時	本会議（提案理由説明）	9 月 2 日（火）午後 6 時
3 日	水	午前 10 時	本会議（質疑・決算特別委員会設置）	9 月 5 日（金）午後 6 時
8 日	月	午前 10 時	本会議（一般質問）	9 月 11 日（木）午後 6 時
9 日	火	午前 10 時	本会議（一般質問）	9 月 12 日（金）午後 6 時
10 日	水	午前 10 時	本会議（一般質問）	9 月 16 日（火）午後 6 時
11 日	木	午前 10 時	本会議（一般質問・予備日）	9 月 17 日（水）午後 6 時
12 日	金	午前 10 時	教育厚生委員会 決算特別委員会 教育厚生分科会	
16 日	火	午前 10 時	教育厚生委員会 決算特別委員会 教育厚生分科会 産業建設委員会 決算特別委員会 産業建設分科会	
17 日	水	午前 10 時	教育厚生委員会 決算特別委員会 教育厚生分科会 産業建設委員会 決算特別委員会 産業建設分科会	
18 日	木	午前 10 時	産業建設委員会 決算特別委員会 産業建設分科会	
19 日	金	午後 1 時	産業建設委員会 決算特別委員会 産業建設分科会 総務委員会 決算特別委員会 総務分科会	
22 日	月	午前 10 時	総務委員会 決算特別委員会 総務分科会	
24 日	水	午前 10 時	議会活性化特別委員会 公共交通対策特別委員会	
25 日	木	午後 1 時	議会運営委員会	
29 日	月	午後 1 時	委員会審査結果報告（質疑・討論・採決）	
10 月 1 日	水	午前 10 時	議会運営委員会	10 月 2 日（木）午後 6 時
8 日	水	午後 1 時	議会運営委員会	
14 日	火	午後 2 時	決算特別委員会審査結果報告（質疑・討論・採決）閉会	10 月 15 日（水）午後 6 時

題字・看板等に協力 の3校書道部を招待

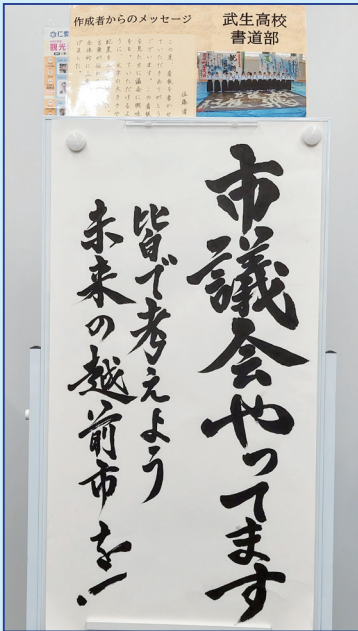
昨年度から市議会だよりの題字の揮毫や本会議開催案内看板の作成に協力いただいている市内高校書道部の皆さんを今年度も招待し、揮毫への思いを伺いました。高校生らは「看板を見た方が議会に興味を持ってくれるように意識して書きました」等と、はつらつと正副議長に話してくれました。

その後の議場見学では、議会の仕組みを学び、模擬採決（電子採決・挙手採決）を体験しました。



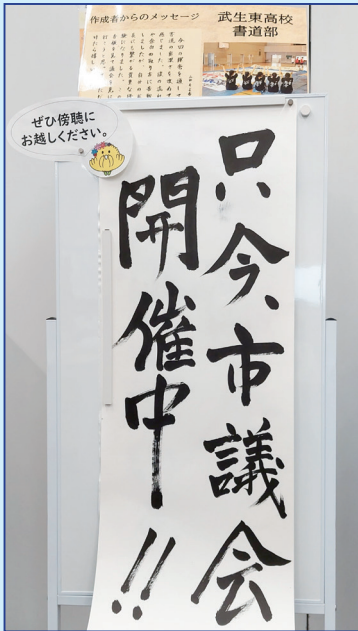
武生高校
佐藤 渚さん

揮毫看板



武生東高校
山田 そよ香さん

揮毫看板



題字・看板揮毫者からメッセージ



看板揮毫
武生高校2年
佐藤 渚さん

この度、看板を書かせていただきました。この看板を見た方に議会に興味をもっていただけるように、文字の大きさや配置を工夫しました。言葉が伝わるように、全体的に元氣よく仕上げました。

佐藤 渚



看板揮毫
武生東高校2年
山田 そよ香さん

今回の揮毫を通して書道の奥深さを改めて感じました。線の流れや余白の取り方に苦戦しましたが、自分の成長にも繋がる貴重な経験になりました。この看板を見て議会を見に行こうと思ってくれたら嬉しいです。

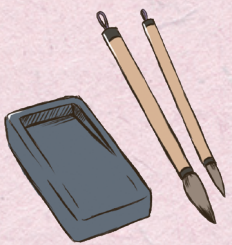
山田 そよ香



題字揮毫
武生商工高校3年
土田 ゆりなさん

今回題字を書く際に意識したことは、力強さとしなやかさを両立させることです。この文字の線の太さ、強さ、美しさは筆と墨でしか表せません。この字を見て書道に興味を持ってくれる人が増えたら嬉しいです。

土田 ゆりな



地元の音響業者が議場を見学

世界的な音響メーカーの(株)オーディオテクニカの創業者である故松下秀雄さんは、越前市出身であり、戸谷町には開発・製造の拠点として(株)オーディオテクニカフクイが立地しています。今回、インドの輸入代理店などから11人を招待し、音響の会議システムの設定現場を視察したいとの依頼があり、4月11日に議場を見学しました。

合わせて、和紙や打刃物の伝統産業や、永平寺や東尋坊などの観光地を訪れ、市内企業と連携した「産業観光」に取り組みました。



鯖江市議会との行政懇談会を開催

5月9日に、鯖江市議会との行政懇談会を開催し、越前市議会から12人、鯖江市議会から10人が参加し、「河川の防災・減災対策について」をテーマに、意見交換を行いました。

懇談会では、河川の防災は、流域全体で取り組む必要があり、まずは、地域住民に、自分事として認識してもらうことが必要であるとの意見がなされ、今後とも、越前市と鯖江市が連携して、取り組むことを確認しました。その他、鯖江市で取り組んでいる「田んぼダム」についての意見交換を行いました。



議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

佐々木 哲夫
砂田 竜一
能勢 淳一郎
橋本 弥登志
川崎 俊之
畑 勝浩
小玉 俊一
安立 里美

問合先

市議会事務局
TEL (22) 3426